

企画政策部長の仕事宣言！ 進行管理表

企画政策部長 園木 一博

① リープロの名称	九州の拠点、鳥栖の顔づくりプロジェクト
②目標値 (平成32年度)	・鳥栖駅利用者数 14,500 人/日 ・情報化推進計画の進捗率 85% ・新鳥栖駅利用者数 6,180 人/日 ・広域連携事業数 12 事業
③今年度の目標	①策定した「鳥栖駅周辺まちづくり基本構想」に基づき、関係機関との協議・調整を図るとともに有識者による検討委員会の議論を踏まえた「鳥栖駅周辺まちづくり基本計画」の策定 ②九州国際重粒子線がん治療センターの事業推進、PR、資金収集活動 ③マイナンバーカードを活用した住民票等のコンビニ交付サービスの導入 ④筑後川流域クロスロード協議会等における連携事業の実施及び新たな事業の検討
④上半期の 取組内容	① 鳥栖駅周辺まちづくり基本計画策定に向け、まちづくり検討委員会を5月及び8月に開催し、駅周辺まちづくりの意見交換を行いました。 ② 7月にハイマットの一般公開がなされ、830名の見学者が訪れ、重粒子線治療のPR及び理解促進が図られました。 ③ 住民票等のコンビニ交付に向けた作業部会での検討を重ね、システム構築に向けた取組を行いました。 ④ クロスロード協議会総会において今年度の各部会事業計画の承認を受け、それぞれ新たな事業検討や合同PRに向けた準備を行いました。
⑤下半期の 取組内容	
⑥数値目標の結果	
⑦成果と課題 (次年度に向けて)	

◇副市長の指示

上半期

- ・鳥栖駅周辺整備については、有識者による検討委員会の議論を踏まえながら、関係機関との協議・調整を図り、「鳥栖駅周辺まちづくり基本計画」の策定に向けて取り組んで行くこと。
- ・九州国際重粒子線がん治療センターのPR、資金収集活動に取り組むとともに、新鳥栖駅周辺の魅力ある拠点形成に向けた検討を行うこと。
- ・マイナンバーカードを活用した住民票等のコンビニ交付サービスの導入については、事業開始時のトラブル等に留意しつつ、着実に進めること。

下半期

企画政策部長の仕事宣言！ 進行管理表

企画政策部長 園木 一博

② リープロの名称	「これからも、選ばれつづける鳥栖シティ！」プロジェクト
②目標値 (平成32年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・企業進出協定件数 200 社以上 ・25～39 歳転入者数 8,400 人 ・出生数 3,760 人 ・市民満足度調査満足派の割合 85%
③ 今年度の目標	<ul style="list-style-type: none"> ① ふるさと・しごと促進事業の実施、国家戦略特区の指定に向けた取組 ② 空き家対策事業の構築 ③ 高校生入院までの医療費助成の拡大、保育所整備、教科「日本語」の取組、アウトリーチ事業の実施 ④ 鳥栖駅周辺まちづくり事業（基本計画の策定）、(仮称)健康スポーツセンター整備（実施設計）、小学校周辺交通安全対策事業の実施、サガン鳥栖支援
④上半期の 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ① 鳥栖ビズを活用した創業支援の充実を図るとともに、7月29日2市1町による国家戦略特区申請を行いました。 ② 4月に空家等対策検討委員会を設置し、検討を開始しました。 ③ 4月からの医療費助成の拡大を行うとともに民間の保育所3園について平成29年4月開園に向け、取組を進めました。 ④ 鳥栖駅周辺まちづくり事業については、まちづくり検討委員会を開催し、整備の考え方について検討しました。また、基本計画素案策定に向けて関係機関との調整を進めています。
⑤下半期の 取組内容	
⑥数値目標の結果	
⑦成果と課題 (次年度に向けて)	

◇副市長の指示

上半期

- ・“鳥栖発”創生総合戦略に記載の事業進捗を図りながら、国の補正予算や県の補助事業等活用し、新たな事業の検討を進めること。

下半期